

鎌倉市川喜多映画記念館 令和6年度（2024年度）第3四半期実績評価

1 記念館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・この四半期の来館者数は4,449人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値5,871人に対して、約75.8%の来館者数であり、評価水準の80%に満たなかった。
- ・昨年度の同四半期来館者数5,301人と比較すると852人、約16%減少した。

2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・通常の設備保守・点検等が適切に実施されている。
- ・館内環境について適宜報告があり、記念館の環境維持に配慮した施設管理を実施している。

● 資料等の維持管理

- ・施設の特性を考慮しつつ、適正な維持管理が行われている。

3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務

● 上映及び展示

- ・展示事業は、特別展「女優から妻へー生誕100年 高峰秀子という生き方」を開催した。日本映画を代表する女優・高峰秀子の生誕100年を記念し、出演作やエッセイ、結婚後の生活について取り上げた。高峰秀子と交流のあった鎌倉文士や鏑木清方に取材した様子の資料、高田博厚作の高峰秀子像（鎌倉市所蔵）の展示があった。展示室内で高峰秀子出演のラジオドラマを試聴できるブースを設ける工夫も見られた。

- ・上映事業は、高峰秀子出演作品を上映した。特別上映では、関係者を招いたトークイベントを開催した。

● 調査、研究及び情報提供

- ・次期展示の調査研究のため、関連施設や関係者等を訪ね、情報収集を行った。
- ・情報資料室において映画資料や関連図書等の情報提供を行った。

● 広報及び宣伝等

- ・市広報に展示や上映内容を欠かさず掲載した。さらに、市役所本庁舎内のモニターによる広告も利用し、より多くの市民等に向けて利用促進の情報発信を行った。

● その他の事業

- ・キュレーターによる上映解説や展示解説を実施した。
- ・11月19日～24日 秋のシネマウィークを開催した。（参加者合計310人）
- ・12月17日～22日 かまくら世界映画週間《台湾編》を開催した。22日には、関係者を招いたアフタートークを実施した。（参加者合計292人）

4 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書を決められた期日までに提出した。

● 事故・苦情対応

- ・事故や苦情等があった際は、内部で情報共有を行い、速やかに市へ報告するとともに対応策を検討している。

● その他

- ・10月12日、13日に旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）の一般公開を行った。（来場者合計549人）
- ・11月7日、30日に鏑木清方記念美術館との合同展示解説を実施した。（参加者合計42人）
- ・11月8日、フリースクールLargoの生徒向けに16mmフィルム上映会及び工作ワークショップを実施した。（生徒6人参加）
- ・12月1日、「映画の日」につき展示観覧料無料開館を実施した。（49人入館）
- ・12月27日、鎌倉児童ホームにて、図書館の16mmフィルムを使用したアウトリーチ事業を実施した。（18人参加）
- ・4月27日から継続して、近隣4館との連携でスタンプラリーを実施した。

5 全体評価

- ・この四半期の来館者数は4,449人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値5,871人に対して、約75.8%の来館者数であり、評価水準の80%に満たなかった。そのため5点減点とする。昨年度の同四半期来館者数5,301人との比較では852人、約16%減少した。今回の特別展は、女優・高峰秀子の生誕100年を記念した企画であり、各地の同企画と連携した形での情報発信がなされたが、来館者の増加には至らなかった。一方、上映事業は前年度比117.1%と増加しており、報告書にて指定管理者が分析しているとおり、日本映画の名作を中心に上映したことが、記念館の客層のニーズに合致したのだと考える。特別展は、高峰秀子と鎌倉の繋がりが取り上げられ、上映作品に鎌倉文士作品（そのうち1作品は小津安二郎監督作）がラインアップされるなど、記念館で高峰秀子の特集する意義が十分にあった。市と連携し、市所蔵の高田博厚作「高峰秀子像」を出品したことも記念館ならではの企画といえ、評価する。また、ラジオドラマの試聴ブースを新たに設けるなど、展示方法にも工夫が見られた。展示と上映どちらも充実した内容であり、その魅力を周知し、来館者数の増加に繋げるために、より効果的な広報計画を検討されたい。
- ・教育普及事業では、児童ホームを対象とした企画が継続して実施されている他、新たにフリースクールとの連携事業が行われた。国内でも数少ない映画文化を伝える施設として、今後も様々な機関と連携し、普及活動に励まれたい。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市川喜多映画記念館 令和6年度（2024年度）第3四半期判定評価

評価項目	判定点	評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	×	5
2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとしてされているか	5	○	
資料等の維持管理			
資料等の維持管理は適切に実施されているか	5	○	
3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務			
上映及び展示			
計画どおりに企画展が開催されているか	5	○	
予定どおり映画上映が実施されているか	5	○	
調査、研究及び情報提供			
映画関連資料等の調査・研究を行っているか	3	○	
研究の成果を公開しているか	3	○	
その他必要な業務			
展示・上映以外の事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとしてされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			5

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率	
減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%